

とやまじょうし へんせん 富山城址の変遷

あなたは、城址公園を見て、富山のお城は小さかったんだなと感じたことはありますか？

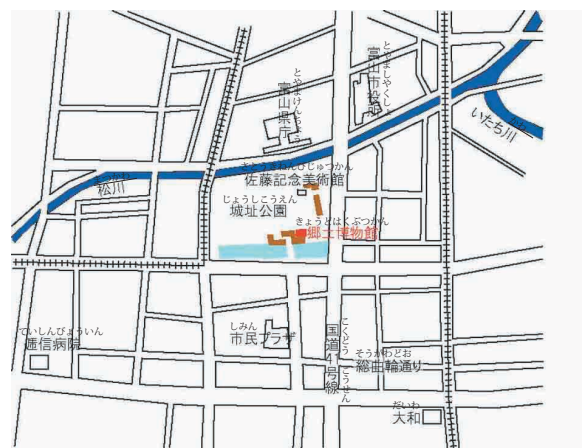
確かに、現在の城址公園だけを見ると、小さいお城だったんだなと思いますよね。しかし、本来の富山城はもっと大きなお城でした。江戸時代の富山城は本丸・二之丸・西之丸・東出丸・千歳御殿（中之御屋敷）などから構成されていましたが、この内、城址公園として現在まで遺構が残っているのは本丸と西之丸部分だけです。それでは、城址公園と比べると、江戸時代の富山城はどれぐらいの大きさだったのでしょうか。



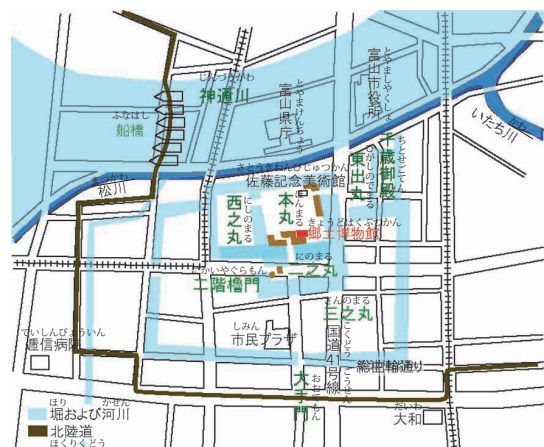
江戸時代の富山城



現在の富山城址



2つの図を重ねてみると…



※江戸時代の神通川は、富山城の北側を流れていました。明治時代以降の改修工事によって、現在の流れになったのです。松川は旧神通川の名残です。